

がん検診の結果、「**要精密検査(便潜血陽性)**」の判定です。

早めに**精密検査**を受けてください

早期発見が
重要です!



- 現時点で、がん確定ではありません。
- 精密検査は、がんかどうかの確認のために詳しく調べる検査です。
- 大腸がんは初期にはほとんど症状がありません。症状がなくても**必ず精密検査を受けてください。**
- 日本では、年間約15万人が大腸がんと診断され、最も多いがんです。一生のうちに大腸がんと診断される確率は男性10.3%、女性8.1%です*。

*出典: 国立がん研究センター「大腸がんファクトシート2024」

精密検査が受診できる医療機関、持ち物、受診方法は
横浜市WEB「[がん検診精密検査について](#)」



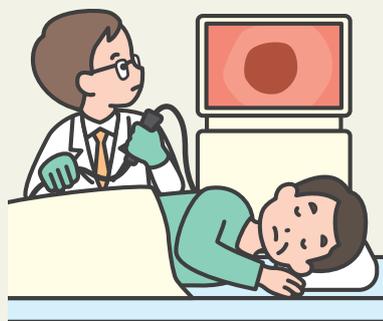
精密検査の内容

全大腸内視鏡検査

下剤で大腸を空にして、内視鏡を肛門から挿入し、大腸の全部位(直腸から盲腸まで)を観察します。

早期の大腸がんや、将来がんになる可能性のある大腸ポリープなどを切除することも可能です。

*全大腸内視鏡検査が困難な場合は、S状結腸内視鏡検査と注腸エックス線検査の併用になります。



精密検査の結果、がんでなかった場合でも、症状がある時(血便、腹痛、便の性状・回数の変化等)には速やかに受診しましょう。